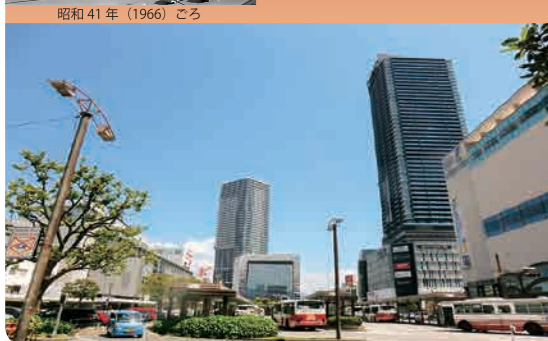


広島駅がいわい

1 広島駅南口

現在の駅舎は昭和40年(1965)開業、「広島民衆駅」と呼ばれた。昭和50年(1975)山陽新幹線開通で北側に駅舎ができた。近年の再開発で、大きく様変わりした。



2 広島駅北口



南北自由通路も完成し、生まれ変わった広島駅北口(新幹線口)。ペDESTリアンデッキは新たな待ち合わせ場所となりつつある。なお、一見東区に位置するようだが、ここも南区。(松原町)

3 広島駅南口地下広場



広島駅と駅前大橋の間を結ぶ地下広場。案内所やギャラリー、ホールがあり、ホールの大型映像で南区の情報も発信している。

6 京橋



広島から京に向かう橋として江戸時代初期に西国街道に架けられた。現在の橋は昭和2年(1927)架橋。

凡例	
	トイレ
	公園
	寺
	学校
	神社
	教会
	郵便局
	警察・交番

5 猿猴川の起点



特徴ある地形は江戸時代の絵地図にも載っていて、人々に親しまれていた様子がわかる。

4 駅前大橋



平成12年(2000)架橋。56mもの幅員と曲線のデザインが特徴。四隅の紡錘形の照明塔は高さ23.75m。

7 柳橋



明治11年(1878)架橋。当時西詰にあった大きな柳が橋名の由来。同28年まで渡橋料を徴収。歩行者専用の橋。

駅前ぶらりまち歩き

「広島市の陸の玄関」広島駅南口周辺には、歩いて初めて発見できる魅力的な風景が数多く存在する。このマップではそんなスポットを紹介。にぎわいと下町情緒の息づく街並みを見て！感じて！



15 猿猴橋



現在の橋は大正15年(1926)架橋。当時広島一美しい橋と絶賛された。現在はブロンズ製のタカなど当時の装飾が復元されている。夜間のライトアップが美しい。

14 川の駅「広島駅」



水上タクシーに乗って、水の都ひろしまを満喫しよう。次の駅は「縮景園」。そのまま「平和記念公園」まで行けるよ。

13 愛宕踏切



通称「開かずの踏切」。6つの線路を列車が行ったり来たり。ひとたび遮断機が下りると、いつ開くかわからない…!

12 荒神陸橋



南口と北口の自動車交通の要。昭和37年(1962)に建設された。

11 荒神橋



初代は電車専用木橋。現在は人も通行でき色々な電車が行き交う。

8 「妖怪伝説」ゆかりの稲生神社



三次藩士、稲生武大夫を祀る。妖怪を退散させたとして南区七大伝説「妖怪伝説」で紹介。水木しげる等の職がはためく。

9 センシシティ



以前は繊維問屋としてにぎわった。今は繊維業のみならず、飲食店が多く出店している。

再開発され広島駅南口周辺が変わった!

～平成29年(2017)南口再開発事業が終了～

Aブロック

エールエールA館
エールエールとは「大空に羽ばたき、世界の人々に声援を送るやさしい街」という意味。地下広場は市民の憩いの場所となっている。

Bブロック

BIG FRONT ひろしま
東棟と西棟で構成され、西棟は52階建ての超高層ビルで商業施設やホテル、住宅など複合施設となっている。

Cブロック

エキシティ・ヒロシマ
商業棟と住宅棟で構成され、住宅棟には愛友市場から新たに様変わりした愛友ウォークが入っている。また、友元神社も屋外デッキに遷座(せんざ)されている。

愛友市場から愛友ウォークへ

終戦後、広島駅周辺に市場がたくさんでき、食料品だけでなく生活用品などもあり活気にあふれていた。そんな市場のひとつである愛友市場が、再開発によって新しい商店街に生まれ変わった。内装やお店は一新されたが、市場の名を残して「愛友ウォーク」と名付けられ、あえて低い天井と狭い通路という、当時を思い出させる、古さと新しさが融合したつくりとなっている。



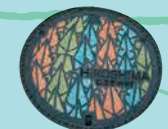
遷座された友元神社



愛友市場内にあったが、再開発に伴い屋外デッキに遷座された。新たに野球ボールのモニュメント「勝鯉岩」も設置された。必勝祈願してカーブの試合に行くファンも多く、新名所となっている。

手押しポンプとマンホールめぐり

ふと広島駅前の路上に目を向けると、興味深い発見があふれている。道端には、かつて使用された手押しポンプが点在している。再開発で撤去された物も多いが、いくつかはまだ残っている。近づいてよく見ると「津田式」「DRAGON」などの文字が刻まれている。マンホールも特徴的だ。カーブ坊やや、平和を祈念した折り鶴をあしらったマンホールが各所にある。宝探し気分で、どこにあるのか探してみよう。



折り鶴のマンホール

カーブ坊やのマンホール

